

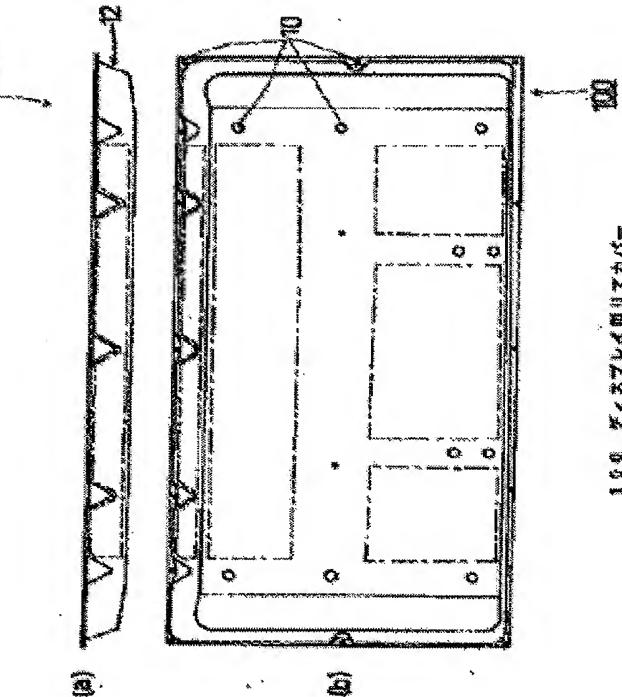
REAR COVER FOR DISPLAY

Publication number: JP2002202730
Publication date: 2002-07-19
Inventor: SASAYAMA MASAKI
Applicant: SASAYAMA KK
Classification:
- **international:** G09F9/00; G09F9/00; (IPC1-7): G09F9/00
- **European:**
Application number: JP20000401477 20001228
Priority number(s): JP20000401477 20001228

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2002202730

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a rear cover for display which efficiently shields electromagnetic waves and has superior workability. **SOLUTION:** The rear cover 100 for display is used to be fitted to the back side of a case frame armoring an internal unit, such as a plasma display panel, and is formed by subjecting a metal plate of a rectangular shape to pressing into a desired shape.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

とができ、かつ、外部で発生した電磁波等のノイズが通過しないように設定する。

【0013】このように、本実施の形態に係るディスプレイ用アカバー100によれば、銅板101を基板として、該銅板101の両面にアルミニウム膜102を被覆した金属板を、打抜き及び絞り加工するものとしてので、銅板101の覆されたアレス加工性により、絞り加工で形成された前記品部112の各隅部に被覆部が生ずることなく、容易に所望の形状に成形できるとともに、形成されたディスプレイ用アカバー100が、アルミニウム膜102によるも優れた電磁波の遮蔽性を有する。

【0014】なお、銅板101の両面をアルミニウムで被覆する方法は、前述したアルミニウム膜102の接着に限られるものではなく、メッキや蒸着等の他の方法によるものでもよい。ただし、メッキにより銅板101の両面をアルミニウムで被覆する方法では、アルミニウム塗膜の厚さの制御が難しくなり、また、打抜き及び絞り加工後にアルミニウムを塗装する方法では、手間がかかる、不良率も高くなるので、前述したように、アルミニウム膜102を被覆する方法が、厚さの制御及び作業効率の観点からは好適である。また、アルミニウムの被覆は必ずしも銅板の両面に行う必要ではなく、片面のみであってもよい。

【0015】また、ディスプレイ用アカバー100の外側の面上は、前記アルミニウム膜102上に印刷塗装を施すものとしてよい。これにより、遮断時等にディスプレイ用アカバー100に傷がつくことが防止され、外観が良好に保たれる。

【0016】なお、前記アルミニウム膜102に代えて、前記銅板101の両面に亜鉛の塗膜を形成した矩形の金属板を、所望の形状にアレス加工したものによっても、前記ディスプレイ用アカバー100と同様に、銅板101の覆されたアレス加工性と、亜鉛膜による優れた電磁波の遮蔽性を有するディスプレイ用アカバーを実現できる。

【0017】また、銅板101をアルミニウム膜102

との合金からなる矩形の金属板を用い、該金属板をアレス加工してディスプレイ用アカバーとしたものも、前記ディスプレイ用アカバー100と同様の効果を奏すことができる。該合金において、鉄とアルミニウム又は亜鉛との比率は、アレス加工に必要な絞り率、及び電磁波の遮蔽性能を考慮して設定する。

【0018】【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ディスプレイのケースに用いられる金属製のアカバーを、銅板の少なくとも一方の表面にアルミニウム又は亜鉛が被覆された金属板からなるものとしたので、アカバーの成形作業が容易となり、銅板において金属板に破れや割れが生ずることがない。これにより、電磁波を遮断し、かつ、加工性に優れたディスプレイ用アカバーを実現することができる。

【0019】また、本発明によれば、ディスプレイのケースに用いられる金属製のアカバーを、アルミニウム又は亜鉛合金からなるものとしたので、前記と同様に、電磁波を遮断し、かつ、加工性に優れたディスプレイ用アカバーを実現することができる。

【図1】本発明の実施の形態に係るディスプレイ用アカバー100の構成を示す正面図及び背面図である。

【図2】ディスプレイ用アカバー100の断面構成を示す拡大断面図である。

【図3】通気孔11を示す正面図である。

【図4】従来のディスプレイ1を示す概略斜視図である。

【符号の説明】

- 1 プラスチックフレーム
- 2 内部ユニット
- 3 ケース枠
- 4 アカバー

【図2】

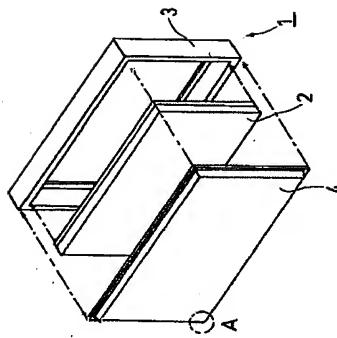


101 鋼板
102 アルミニウム膜

【図3】



【図4】



【図1】

